

解答

一 問一 a 存在
問二 b 最初
問三 c 支配
問四 d すぐた
問五 e そうとう

二 問一 エイエウイ
問二 エ
問三 A ア B イ C ウ
問四 ぞうとするようなどす黒い光
問五 (2)
問六 エ
問七 ウ
問八 イ
問九 エ
a 経験も知識もないままの姿で他人と関係をとりむすぶなかで、自分というものは確立していくから。
b 最初
c 支配
d すぐた
e そうとう

二 問一 A ア B イ C ウ
問二 ぞうとするようなどす黒い光
問三 (2)
問四 エ
問五 1 エ 2 ウ 3 イ
問六 服やアクセサリーは美しさがわかりやすいが、芸術はわかりにくく、心に響きにくいと感じるというが
い。
問七 ウ
問八 ウ
問九 ① 酸素 ② 治「る」 ③ 貴重 ④ ゆにゅう ⑤ あやま「ち」

解説

一 問七

二つ後の段落で「経験もなく、知識もなく、ただありのままの自分を信ずることが自信だ」とあり、「自分が他人と関係をとりむすぶなかで、自分は育っていく。」と述べられています。「やきに自分が確立して、それから関係がとりむすばれるのではない」のだから、人とかかわらないと考えるのは「まったくまらない」と筆者は主張しています。要約して答えましょう。

二 問六 続く部分で、男子生徒は「服なんかは、どんどん売らなきやいけないから、美しさがわかりやすいけど、芸術はわかりにくい。」「わかりにくいものが、心に響きますか」と言つて、いることから考えます。先生は、本文の中ほどで「芸術作品が人の心にもたらす最大の力」は、「何もかもが八方ふさがりで落ち込んでしまったとき、芸術に触ることで光がさし、豊かな気持ちになるから。」と発言しています。

二

問七
問八